

平成28年10月20日

第12回明德学園研修・懇親会
実践報告(京都経済短期大学)

名物オムニバス講義の実際について

学長 岩田年浩



新入生にこの短大で学ぶ意欲に火をつけるために企画しました！

こういう共同授業は日本の大学教員の間ではほとんどなされない。学校教育や専門学校教育とは違い、教科書や教材・授業の組み立ては教員が決めるのが普通。授業に他人が入ってくることに抵抗があるから。

他大学では、「論争のためにするのか？」「学外に授業を公開して、テロリストが来たらどうするのか？」など。日本の大学・短大はまだまだ閉鎖性が高い。

ところが、戦前の京大での近経一高田保馬一とマル経一河上肇一の論争講義や大阪市大のリーレー講義は知的刺激を与えていた。

オムニバスとは乗り合いバスのこと。現在では、普通にバスと呼んでいます。

2014年度の「情報社会をどう見るか」の議論



- * 情報社会の進展を理系から、文系から、マスコミ論から、コンピュータ科学から、社会科学からみた教員の討論会。学生も参加して。

学生にとってのプラス面

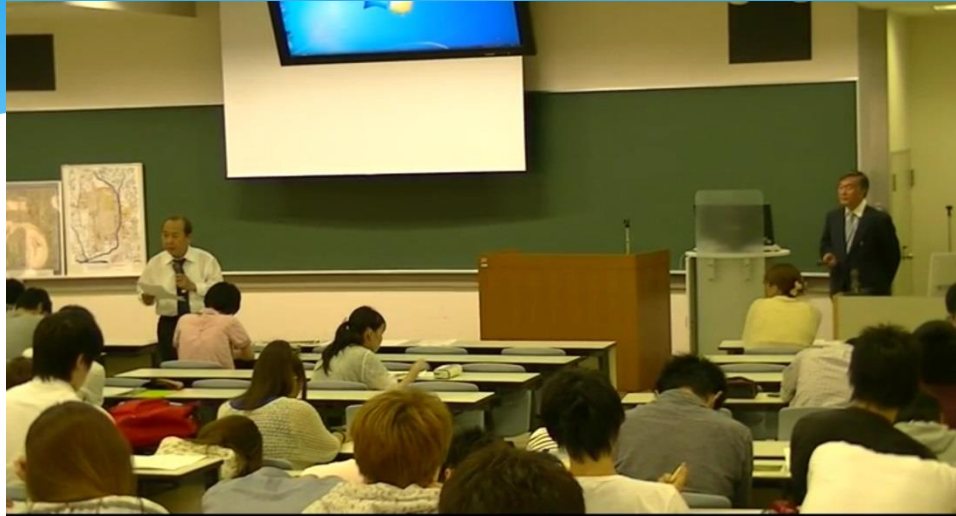
- * 短期間に主要な講義や先生方の様子がわかる。ここがどんな短大かのスケッチができる。
- * 複数の教員、特に経済・経営・会計・情報の教員がたとえば「利益をどうとらえるか」について、それぞれの専門の角度から迫る、やりとりするという(普通では見られない)面白さを味わえる。
- * 現代の学生に弱い“考える”ことをさせる(勉強とは覚える事ばかりととらえがち)。
- * 内容は専門ではなく、入門的知識で進める(まずは、これをおろそかにしないでいく)。

扱ったテーマは

- * 2013年度前期 「各専門分野では利益をどう捉えているか」
- * 2014年度前期 「企業とは何なのか」
- * 2015年度前期 「京都の今昔」
- * 2016年度前期 「経済と経営」



京都の古地図を前に、街並みや寺社・各藩の京屋敷の配置から京都の特徴を考える
スピーカーは山岸忠先生



- 西京区の民生委員さんたちが登場
地域社会論の高橋和志先生と
「短大はこの地域とどうかかわるか」
- 他に、中国人教員の呉紅敏・斯琴先生
の「中国とモンゴルと日本」
- 装和きもの学院長の頼政恵美子先生
「京都と着物の世界」和服の知恵を知る。
- 作文教育の倉本頼一先生の「いじめ
自殺の現場から」の生々しい話



授業をしてみてもわかったこと

- * 進行係に話す(問いかける)余裕を与えない人もいた。
- * おとなしい先生と思っていた人が私語やスマホ使用の注意をしっかりとっていることがあった。
- * いろいろなことに興味を持つことが教養のすそ野を広げる、考える勉強に踏み込むことへの理解。
- * 先生方へは、進行係からの問いかけ(発問)に対応してもらった。発問の訓練を目指した。
何か授業のヒントや刺激のようなことがあれば先生方は受けとめてくれると思いました。
「ハタをらくにする」とは人の役に立って、己が助けられる道と心得ました。
- * 異分野の教員同士の入門的やり取りでの司会者の問いかけが後の授業の展開に役立つ。
やり取りを学生に見せることで、授業を受ける姿勢が新鮮になってくる。

富士山はすそ野が広いからこそ美しい！



学生の感想から

- * 知らないことをたくさん知ることができた。
- * 「利益」の捉え方は学問によって、見る角度が違うことがわかりました。
- * 経済学でいう「利潤」が会計学での「営業利益」に該当すると初めて知りました。
- * 経営学と経済学の違いと関連（マーケティングと市場分析、企業会計と国民所得会計原則の共通点など）がわかった。
- * 京都で生まれ、育ったんですが、京都のことを知らなかった。京都はもったいないぐらいいい所ですね。
- * 京都と大阪はかなりよさが違いますね。
- * こういう勉強があるんだと思った。覚えることが勉強だと思っていたから。
- * 就職対策や編入対策の話が最終回にあってよかった。

『企業と利益がわかる』



オムニバス講義のやり取りはこの本にして、出版しました。

そして、この本を高校や日本語学校まわりで、相手の先生方に渡しました。いい評価をたくさんいただきました。

京都経済短期大学
経営情報学会 編

ミネルヴァ書房刊

2014年01月01日 出版

このオムニバス講義の様子は『産経新聞』や洛西ケーブルテレビ・『リクルート・カレッジマネジメント』等に取り上げられました。

先日の「第三者評価」でも注目されました。

おかげ様で、この2年～3年入試は大変好調です。
皆さんのお励ましで元気にさせていただいております。

御清聴ありがとうございました。

京都経済短期大学教職員一同

